

より良い都市環境の創造と共生

阪神高速グループでは、遮音壁の設置、舗装の改良や環境ロードプライシングの実施などを通じ、騒音の低減や大気質の改善に取り組んでいます。また、地域との連携や社会への貢献の観点から、生態系保全や景観などの周辺環境との調和にも取り組んでいます。

環境ロードプライシング

国道43号・3号神戸線沿道の大気環境改善のため、2001年11月から5号湾岸線の貨物車などの料金を割り引く「環境ロードプライシング※割引」を実施しています。これにより交通転換が進み、2001年1月には31.8%だった5号湾岸線の分担率が、2025年11月には54.6% (22.8ポイント増加)となっています。

※ 沿道環境の改善を図ることを目的として、並行する道路間の料金格差で、都心部や住宅地への交通流入を抑制する手法



注) 割引率はご利用区間によって変わります。

海洋における生物多様性保全の取り組み

大阪湾岸道路西伸部沿線において、港湾事業者や自治体と連携し、漁業関係者との持続的な対話を通じて、神戸港における周辺海域環境の改善施策などを検討しています。また、地域のNPO法人や「阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト」助成団体と連携して、海洋へのプラスチックごみ流入を防ぐクリーン活動に社員が参加するなど、地域の皆さまと連携した取り組みを進めています。



須磨海岸の清掃ボランティア活動に参加

長大橋ライトアップによる都市の魅力向上

湾岸線の天保山大橋、港大橋、東神戸大橋では、電力使用量の少ないLED照明を使用した夜間のライトアップを行っています。また、地域と連携した取り組みも進めています。

📖 特別ライトアップ P.66



天保山大橋(5号湾岸線)